

令和4年2月8日

課名：保健医療介護部ワンヘルス総合推進室
直通：092-643-3621
内線：3190
担当：左藤

新たな保健環境研究所の建設地の決定について

- 県では、人と動物の健康と環境の健全性を一体的に守る「ワンヘルス」の取り組みを推進しており、このワンヘルスを実践する中核拠点として、全国で初めて「ワンヘルスセンター」（※）を整備することを目指しています。
- その中核となる「保健環境研究所」について、老朽化も進んでいることから、ワンヘルスの理念に基づき、より安全性が高く、新興感染症等の調査研究に対応できるとともに、地球温暖化対策等に取り組む施設として再整備を行います。
- 整備に当たっては、新たな機能として、ワンヘルスに取り組む機関・団体等と情報を共有し、共同で調査研究等を行う機能を追加する予定です。
- この新たな保健環境研究所の建設地は、期待される役割や機能、解決すべき課題を踏まえ検討を行った結果、みやま市にある「保健医療経営大学敷地」に決定しました。
- 今後は、新しい保健環境研究所が、人と動物の健康と環境の健全性に関する課題に分野横断的に取り組む「ワンヘルスセンター」の中核として、今後設置する動物保健衛生所（仮称）と連携して、人獣共通感染症対策や薬剤耐性菌対策に関する先進的な調査研究、専門人材の育成等を進めてまいります。

※ワンヘルスセンター・・・人の健康と環境の保全に関する機能をもつ「保健環境研究所」と、家畜に加え野生動物や愛玩動物の保健衛生を一元的に担う「動物保健衛生所（仮称）」との相互連携によりワンヘルスを実践する中核拠点

1 選定基準

敷地面積、用地等の取得の実現性、交通アクセス、費用、工期、設計の自由度

2 選定理由

- ・ 敷地が広いため、将来のワンヘルスセンターの機能拡張にも対応できること。
- ・ みやま市が保健医療経営大学の建物、設備と土地を県に無償譲渡する意向を示していること。
- ・ 現存の建物が保健環境研究所の管理棟などに利用可能であることから、建設工事費の抑制や工期の短縮が見込まれること。

3 建設地

保健医療経営大学敷地（みやま市瀬高町高柳960-4）

（概要）

- ・敷地面積 100,414平方メートル
- ・現所有者 土地：みやま市
建物：学校法人ありあけ国際学園



4 スケジュール等

建設地決定を踏まえた基本計画を策定する中で全体工事費や工期についても記載します。

（位置図）



九州自動車道 みやま柳川 I Cより車で約15分

JR南瀬高駅より徒歩で約15分